勝利の方程式

早稲田大学理工学部物理学科客員講師（専任）　足　立　健　吾
（前 相関分子科学研究系相関分子科学第一研究部門助手）

勝利の方程式と言っても、秋に行われる機構杯ソフトボール大会で優勝するための方法でもなければ、岡崎市主催のフットサル大会で優勝するための方法でもありません。２００１年に、木下先生の岡崎赴任に伴って木下研究室自体が統合バイオに移動しました。それから岡崎を去るまでの３年の間に、いつの間にか言われる様になった言葉なのです。

この方程式は、竜美丘会館通り東明大寺町交差点にある居酒屋で和むことから始まります。行った日がたまたま木曜日なら、おそらく方程式が解ける確率は下がります。生ビールが半額だからです。逆に、和みに来た口実があればあるほど、この確率は上昇します。デートがうまくいかなかったとか、送別するとか、実験がうまくいったなどの理由があれば良いのです。次は、大きな地球儀がトレードマークの統合バイオ東門そばにあるお店です。カレーポテトと唐揚げ、最後の仕上げにうま味ご飯は必ず注文するメニューでした。もう、お分かりだと思いますが、勝利とは“梯子”のことなのです。この二軒でまだ自分を見失わず、この後更に竜海中学校、ローソン近くの猫中華（通称）にたどり着くことが出来てようやく方程式は完成するのです。若さと体力がなければ出来ない業です。しかも、運が良ければ中華の大将と東の空が白じむまで飲むことが出来るから、たまったものではありません。私にとって、勝利の方程式はとても難解でした。

で、研究での勝利の方程式はというと、これは更に難解です。そんなモノがあればいいのですが、簡単ではなさそうです。ただ、これから先も日々努力し求め続けていきたいと思っています。

統合バイオサイエンスセンターという最高の実験施設、環境で研究できたことは私にとって非常に幸せでした。あまり多くの人と交流できなかったのが残念でしたが、またお会いする機会がありましたら是非勝利の方程式（どちらでも構いません）をご一緒できたら幸いです。私生活の方でも、長女が誕生したり、人生で最高に太ったりなどなど貴重な経験をし、とても思い出深い地になりました。３年間どうもありがとうございました。